

# 7 附帯設備

■基本的な考え方■

高齢者や身体障害者等が公園を快適に利用できるように、ベンチ、水飲器、自動販売機、野外卓等の設備を適宜配置するよう配慮する。

整備基準

7 附帯設備

ベンチ、水飲器、自動販売機、野外卓その他の設備は、身体障害者等が円滑に利用できる構造とすること。

整備基準の解説

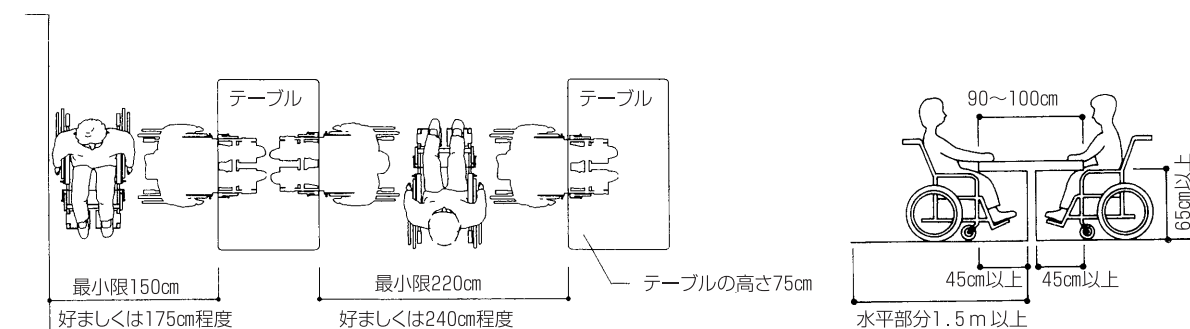
●整備の対象

ベンチ、水飲器、自動販売機、野外卓は高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる構造とする。

配慮事項

項 目	解 説
ベンチ	○「道路の③ベンチ（P.114）」参照。
水飲器	○「建築物の配慮事項①水飲器（P.84）」参照。
自動販売機	○「建築物の配慮事項①自動販売機（P.84）」参照。
野外卓	○車いす使用者の利用に配慮して、野外卓の下部スペースは高さは65cm程度、奥行き45cm程度とする。 ○車いすで接近できるよう、使用方向に150cm以上の水平部分を設ける。 ○野外卓間を車いすが移動できるようにするため220cm以上の間隔を確保する。

テーブル間の有効幅



（各寸法は有効幅とする）

